

2009

平成21年2月 (2009年) No.518

年度優秀賞は江村、進藤両氏の作品に 残念ながら年度大賞は見送り

今年最初の例会は、いつもと違い第3日曜18日13時より開催、31名の会員諸氏が元気な姿を見せて、お互い新年の挨拶など交わして晴やかに開催されました。例会終了後、休憩をはさんで総会に移りました。総会では平成20年度の活動報告、世話役の役割分担の確認の後、会計報告、本年度活動計画が発表され拍手で承認の後、各種表彰が行われました。例会最多出席者、例会最多出品者賞の後、いよいよ平成20年度賞の発表が行われました。

■年度賞発表

年度大賞	該当作品なし		
年度優秀賞	江村一郎さん	「冬の余部」	HDV 7分30秒
年度優秀賞	進藤信男さん	「トキのふるさと」	HDV 18分28秒
年度秀作賞	紙本 勝さん	「国府宮はだか祭」	HDV 13分10秒

今回は年度大賞に該当する作品なしとされ、年度優秀賞2作品、年度秀作賞1作品の計3本が選ばれました。

江村さんの「冬の余部」は、一連の余部シリーズで特に抜きん出た秀作というわけではありませんが、適格なカメラワークとセンスあふれる編集技術が評価されました。進藤さんの「トキのふるさと」は遠路はるばる新潟まで何回も足を運ばれ、環境問題もからめてよくまとめられたものと評価されました。紙本さんの「国府宮はだか祭」は、迫力ある映像を困難な撮影条件下でよくモノにされたそのご努力が買われました。入賞の方々はまだことにおめでとうございました。又、本年も頑張っって良い作品をお作りくださるよう祈念いたしております。

2月例会のお知らせ

2月例会は第4土曜日28日18時より、大阪市立難波学習センター（JRなんばOCATビル4階）にて開催。まだ寒さ厳しい季節が続いていますが、会場はよく暖房が効いています。作品お持ちよりの方は勿論、多数の会員諸氏のご来場をお待ちしております。

森 保信さんを偲ぶ会

2月22日（日曜）13時半より

森さんがお亡くなりになって早や一周忌を迎えようとしています。森さんには会計の仕事を一手に引受けてよくやって頂きました。まだひょっこり例会に姿を見せられるようなそんな気がいたします。

ここに森さんを偲んで作品上映会を2月22日（日曜日）13時30分より（開場は13時）開映いたします。例会場の一つ手前の第2研修室（少し広い部屋）です。机の並べ替え等の準備がありますので、お手すきの方は12時40分までに会場へ来て頂き、お手伝いを頂けたらと思います。

なお、終了後は5階のアサヒスーパードライ難波でお食事会を開催し、既にハガキにて出欠を頂いていますが、もし未返事の方で出席希望の方は早急に会長までご連絡下さい。

■プログラム

- | | | |
|------------------|-----|---------|
| 1. 今宮十日戎 | 6分 | H18年度作品 |
| 2. 柳川雛祭り | 8分 | 13年度作品 |
| 3. 堺大魚夜市 | 9分 | 15年度作品 |
| 4. 沼島八幡祭礼 | 10分 | 16年度作品 |
| 5. 四天王寺万灯供養 | 8分 | 14年度作品 |
| 6. 麗巖東照宮 | 6分 | 16年度作品 |
| 7. 富士憧憬 | 7分 | 12年度作品 |
| 8. 市民の心に希望の光を | 6分 | 10年度作品 |
| 9. やっさいほっさい | 8分 | 18年度作品 |
| 10. 垂井町曳山祭風景（遺作） | 7分 | 19年度作品 |
| 11. 那智の火祭 | 7分 | 15年度作品 |
| 12. 山鹿灯籠風物詩 | 14分 | 16年度作品 |
- （終映予定 16時40分）

（総会議事録より抜粋）

■5年間の例会記録

年度	会員	1例会あたり		年間作品
		出席数	作品数	
16	40名	27.6	15.2	182本
17	41	28.8	14.9	179
18	41	27.4	14.5	174
19	38	28.6	15.0	197
20	40	26.5	16.4	207

注）撮影会作品を含む。但し1例会あたりの平均値には含まず。

■テープ方式の推移（百分率）

年度	4：3	ワイド	HDV
16	83.0%	13.2%	3.8%
17	65.4	22.3	12.3
18	28.7	27.0	44.3
19	15.2	14.2	70.6
20	12.1	11.1	76.8

この5年の間にすっかりハイビジョン化したことが判ります。今では従来からの4対3映像は1割余りとなってしまいました。

ハイビジョン化はこれからも続くでしょうが、4対3（SD作品）もワイド作品も完全に消えてしまうことは考えられません。ハイビジョン化以前の未編集テープや、人から頼まれものの素材テープは4対3がまだ多いからです。形式にはこだわらず、作品の内容も充実して欲しいと思います。それにしてもわがOMCは全国的にみても一番すすんでいるクラブではないかと自負しております（合原）。

■撮影会は5月第5土曜日曜に予定

今年の撮影会は5月30日（土）31日（日）で近江八日市の大風揚げを予定して企画をすすめています。総会では第4土曜日曜と発表しましたが変更です。

1月例会のレポート

1月の例会は18日の午後1時より何時もの例会場で開催しました。司会、合原さん、書記、有村さん、デッキ係に増池さん、江村さん、河合さん、受付兼照明係を奥さん、渡辺さん、紙本さんの担当で進行しました。

◆出席者：有村、天草、石垣、井上、岩井、上田、江村、江藤、岡本、奥、上総、紙本、河合、河口、黒田、合原、進藤、関、錦、西村、華岡、藤原、前田、増池、宮井、宮崎、森田、安居、山本、吉岡、渡辺（敬称略）の31人と作品本数14本でした。

◆上映作品（今月の記録と講評担当：有村博）

1) 新宿御苑

増池 茂さん 5分00秒

昨年の12月に甥御さんの結婚式で東京

へ行かれたそうで、礼服のままで訪れて撮影されたそうです。お天気がよく紅葉が美しく描かれています。此処は元々、宮内庁の管轄だったものを国立の公園として一般開放したそうですが、著名な史跡だとか、由緒正しい建物なども見あたらず広すぎて纏まりのつかない事は否めないでしょう。ご苦労さまでした。

2) 秋田の竿燈 (HDV)

河合源七郎さん 10分43秒

有名な東北の夏祭りの一つを精力的に取材してられました。晴天のお昼間には子供たちまでが肩や腰に重い竿燈を支えて技を競っています。夜になると250を越す竿燈が街中に溢れ勇壮な姿が映し出されます。長い竹竿の先に数十個の提灯をつけてろうそくの明かりが美しく輝いています。重い物で50キロもあるものを支えるには余程のコツがあるのでしょう。縦に長い被写体をハイビジョンで撮るのは難しいと思うのですが、みごとにアップで撮っておられて、迫力満点の立派な作品でした。

3) ちょっと癒されて (HDV)

奥 宏さん 4分26秒

この1月10日に神戸花鳥園で行われたモデル撮影会に参加して撮ってられました。園内の美しい花々に見入る彼女、フクロウのショーにも楽しく参加、結構な映像が続きます。このモデルさん日本人？それとも混血。後でお聞きしますと中国籍のウグアイ人だったそうです。何れにしても美人モデルの撮影会は良いものですね。

4) 餘部俯瞰へ登る (改作) (HDV)

前田茂夫さん 8分30秒

大方の登山道の危険な所には鎖があったり梯子があるものです。前田さんが登られたのは道なき山の非常に危ない所ようです。地元の人か、よく山を知った人のサポートがなければ絶対に登れないと思います。ですから最後に「苦労したのも、この俯瞰が撮りたかったからだ」と結ばれるとすごい感動的な作品になるように思います。その後の花越しの鉄橋や海越しの鉄橋のカット等は前半に入れて「もう何回ここには来たのだろう、こんなカットはもう撮り飽きた。もっと高い所から撮ってみたい」なんて、如何。澄みません、私の勝手な思

いかも知れません。然しあの山の同じ所を降りたとしたら、それこそ怖かったですよね。

5) 彩る公園 (HDV)

有村 博さん 9分24秒

自宅の近くの公園で平成19年秋には桜の葉が真っ赤で綺麗だったので撮影、20年春には八重桜を、そしてその秋に銀杏が綺麗なよく晴れた日に撮影を重ねて、昔の思い出映像を交えてこの作品を作りました。美しい自然を晴天を選んで撮影出来るのも、場所が近いからだと思います。作品に山場がないとのご指摘がありましたので、何とかしたいと思っております。

6) 雪降る餘部 (HDV)

江村一郎さん 6分00秒

降りしきる雪の中、厳冬期の餘部の素晴らしいカットが次々に続きます。カットの間のディゾルプの効果も見事で迫力をより増しているようでした。中でも最初に出てきた鉄橋をバックに上から貯まった雪の固まりが落下する所は抜群のカットですからタイトルバックには勿体ない。後半の盛り上がる所で使いたいですね。それにしてもあれだけの降雪の中でレンズに一滴の水滴もない撮影をされるのですからお見事です。凄い作品を見せて頂きました。

7) スミソニアン宇宙航空博物館 (HDV)

井上勝彦さん 8分39秒

昨年夏アメリカ旅行を楽しまれた井上さんご夫妻は、関空からニューヨークに行く途中、国内線の時間待ちを利用して20年振りにこの博物館に立ち寄り撮影されたそうです。航空機の発展や宇宙開発の状況などが克明に描かれています。日本の零戦も展示してありました。テロップの英語が消えるのが早くて読めないとのご指摘がありました。ご自分のURLで全世界に発表される為とか。奥さんのナレーションで後半にこの方面で造詣の深い井上さんご自身の事を一人称で語っておられるのには少し違和感を感じました。

8) さようなら餘部鉄橋 (HDV)

上田吉巳さん 9分00秒

前田さん、江村さんの他にも餘部狂がおられたのには驚きました。もう何回も通われた事でしょう。その集大成のような作品

に仕上がっていました。所々に見られる魚眼レンズの効果も成功で、新しいコンクリートの鉄橋が一部出来るまでをスムーズに描いておられます。ただ、全編テロップでの解説でしたが、例会場でもご指摘のあった通り、その消えるのが早過ぎて、先ずカットの絵を見て読み始めますと半分も読み終わらない間に消えて次のテロップになります。修正して頂きますと見事な作品になるように思います。

9) 城と共に岸城町 (HDV)

宮井 健さん 8分00秒

岸和田城を取り巻く町を岸城(キシキ)町というそうで、宮井さんが生まれ育った町だそうです。戦後いち早く出来た城の説明から、周辺の神社、学校、由緒ある邸宅、庭園、町並み、次の駅の珍しい名前などが克明に語られ出てきます。中でも全国的に有名な岸和田だんじりの発祥が三の丸神社だったと初めて教えて頂きました。わが故郷をこの様に詳しく描くのも私達ビデオマニアにとって大切な事だと、この作品を拝見して改めて悟りました。

10) あの時の想いを乗せて (HDV)

藤原純三さん 10分00秒

これは藤原さんのビデオと違ったもう一つの顔、鉄道模型マニアとしての自叙伝といった作品のようです。小学4年生の時に母に買って貰った模型機関車の思い出を胸に50年目の今回、念願だったH0ゲージの鉄道ジオラマを制作、完成させて、駅長帽を被ったご本人の嬉しそうな顔と共にその完成式が執り行われます。もっとも一回り小さなNゲージの展示物は既に25年も前に完成されていた由。最近始めた人達とは違うようです。幼時の寝姿を知り合いの人に頼んでドラマティックに挿入したり、何事にも凝り性の藤原さんらしい作品でした。楽しく拝見させて頂きました。

11) 江戸城散策 (HDV)

紙本 勝さん 11分25秒

江戸城という地域の皇居部分を除いた所を一周されて取材されました。一般に開放されている皇居東御苑(三の丸、二の丸、本丸、等)から北の丸へ、千鳥ヶ淵戦没者御苑や公園にも立ち寄られ、西の丸經由二重橋へと広大な地域のようなようです。いつもの

ように歴史的な出来事などを詳細に解説されて判りやすい作品に仕上げられています。それよりも7キロもの距離をビデオを早撮りしながら3時間そこそこで歩かれた様です。その健脚振りと技術にはいつもながら驚きです。

12) ゆく年くる年 (HDV)

進藤信男さん 8分15秒

京都の神社に初詣でに行かれて撮影を重ねてお話を作られました。哲学の道に近い大豊神社には狛犬の他に狛鼠、狐、猿、鳶などがあるそうです。北野天満宮の祭神は菅原道真公で丑年生まれだそうです。今年丑年にちなんで彼の伝記を語っておられます。学問の神様として大勢の受験生が参っています。世界的経済不況に陥った今こそ神頼みの御利益を願っては、と結んでおられます。お正月らしい風景を楽しませて頂きました。

13) ソウル見て歩き (HDV)

山本正夢さん 9分00秒

演歌調の歌によって韓国の首都を観光ビデオ風に見せて頂きました。由緒ある建物の世界遺産が紹介されます。北朝鮮との国境地帯にはツアーに参加しないと行けないそうです。撮影禁止の所は携帯電話で撮影して挿入されました。景福宮の衛兵交代式はよくアップで撮れましたね。最後は南大門の市場を巡っておわり。現地調達のCDによる歌のテンポに乗って楽しく拝見しました。

14) ウォールタペストリー (HDV)

森田光春さん 8分00秒

昨年暮れに行われていた中之島図書館の正面入口の壁面をスクリーンにした光と音楽のエンターティメントショーを取材してこられました。市役所南側のイルミネーションストリートや土佐堀川に浮かぶ電飾に輝く観光船などを織り交ぜて楽しい作品に仕上げられています。

タペストリーとは綴織とか、掛け毛氈とかいう意味だそうです。

以上で上映を終わり、総会を開催、その後5階のアサヒビアレストランで新年宴会を行いました。